

## 平成 22 年度第 9 回（通算第 40 回）MT 委員会 議事録

日時: 2011 年 1 月 21 日 13:30-14:40

場所: 仁科記念棟 2F 会議室 (201 号室)

出席: 酒井<sup>a</sup> (委員長)、延與<sup>a,†</sup>、福西<sup>a</sup>、神原<sup>a,†</sup>、上垣外<sup>a</sup>、加瀬<sup>a</sup>、久保<sup>a</sup>、久保野<sup>b</sup>、森田<sup>a</sup>、櫻井<sup>a</sup>、  
下浦<sup>b</sup>、寺西<sup>c,†,‡</sup>、上野<sup>a</sup>、上蓑<sup>a</sup>、若杉<sup>a</sup>、田中<sup>a,†</sup>

欠席: 阿部<sup>a</sup>、本林<sup>a,†</sup>、吉田<sup>a,†</sup>

<sup>a</sup>RNC / <sup>b</sup>CNS / <sup>c</sup>RIBF-UEC / <sup>†</sup> observer / <sup>‡</sup> TV attendees  
(順不同・敬称略。以下同様)

### 【報告】

#### 1. MT変更(上野)

- MS10-10 (Goto *et al.*, AVF室, 1/17/10:00-24:00) はキャンセル。
- CNSセンター長からのMT延長要求を受け、その物理的意義を認めて、NP0906-AVF04-2 (Chun Sik Lee *et al.*, CRIB, Jan/9/21:00 - Jan/15/21:00) を0.5日延長した(酒井)。
- それ以外のMT (全て旧RARF施設利用) は順調に実施されている。なお、1/22よりSHE実験が再開の予定。

#### 2. PAC 進捗状況(上野)

- NP-PAC
  - 8<sup>th</sup> NP-PAC: 申請課題及びbacklog再評価の審査結果を通知。
  - 9<sup>th</sup> NP-PAC: 8 名の候補者から新委員就任の内諾が得られた。現在、新委員を含めた全委員へ開催時期の問い合わせを行なっている (6/24-25で調整中)。
- 7<sup>th</sup> ML-PAC
  - 予定通り 1/11-12 に開催された。現在PACが答申をまとめている。

### 【議題】

#### 1. 前回(第39回)議事録の承認(酒井)

#### 2. 2011年度上期MT割り当ての方針(酒井)

- SRC利用に関する上期計画の方針
  - 新規ビーム開発が中心: <sup>124</sup>Xe(2-3月+5月)、<sup>70</sup>Zn(4月)、Kr(4月)、<sup>238</sup>U(5月)、<sup>48</sup>Ca(6月)
  - PAC採択BT割当予定は: RILAC入射軽イオン(4月)、<sup>70</sup>Zn(4月)、<sup>124</sup>Xe(5月)、AVF入射軽イオン(6月)a。
- この計画に基づく beam dose の BigRIPS放射化対策作業への影響 (田中)
  - BigRIPS-T による i) F0-STQ1部の遮蔽強化、及び ii) STQ1-D1部へのピローシールシステム導入の二つが2011年夏に予定されている。作業時間を考慮すると、夏の工事の期間、作業空間で i) では1-2 mSv/h、及び ii) では400 μSv/h 以下となるようにビーム照射量を制限する必要がある (以下、より厳しい条件である ii) についての議論)。
  - 今期秋～冬のBigRIPS実験シリーズにおけるビーム積算値から予測される当該期間の空間線量率は 150 μSv/h 程度。
  - 上記MT案では4月の<sup>18</sup>Oのビームエネルギー・強度が夏の線量を決めるキーとなる。

BigRIPS-T による半経験的手法による見積りによれば、 $^{18}\text{O}$  (1500 pnA\*day ( $E/A = 345$  MeV の場合) 又は 495 pnA\*day ( $E/A = 280$  MeV の場合)) +  $^{70}\text{Zn}$  (700) +  $^{124}\text{Xe}$  (100) +  $d(0)$  +  $^{124}\text{Xe}(60)$  +  $^{18}\text{O}(600) = 2960$  又は 1955 pnA\*day となる。1500 pnA\*day ( $E/A = 345$  MeV) で  $^{18}\text{O}$  ビームを利用した場合、400  $\mu\text{Sv/h}$  の条件をクリアーするのは困難だが、495 pnA\*day ( $E/A = 280$  MeV) ならば条件をクリアー出来る。

- 議論の結果、MT委員長から加速器グループへ、RILAC 入射  $E/A = 300$  MeV の $^{18}\text{O}$  ビーム供給の可否検討を依頼した。
- 今後のMT割当スケジュール(上野)
  - 1/17-29: MT割当募集及び装置開発BT募集
  - 2/中: MT案確定
  - 2/末: 使用計画書提出
  - 3/初: 安全審査委員会
  - 3/18: MT委員会にて承認
- その他
  - 4月の $^{18}\text{O}$ 実験の為に3月中にSHARAQからQ磁石をBigRIPSに移設する必要がある(久保)。
  - SAMURAIのコミッショニングの直前(2012/2月)にSTQの搬入とZD-SAMURAI間STQ移動システムの導入工事が計画されている(久保)。

### 3. 次回MT委員会の日程

- 次回MT委員会は2/25 13:30-15:00 で調整。

(以上)